

東日本大震災に対する 東京商工会議所 会員行動宣言

2011年5月18日
東京商工会議所



東日本大震災において被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

今回の大震災は、東北から関東にわたる広い範囲に未曾有の被害をもたらしました。特に、製造拠点やインフラの被災、原発事故に伴う電力不足、風評被害などもあり、東京を含む首都圏の経済全体においても深刻な被害がおよんでいます。

東京商工会議所といたしましても、1923年9月1日に発生した関東大震災の際、渋沢栄一初代会頭が、日本の経済復興に向けて、さまざまな支援活動をスピード感をもって取り組まれた経験に学び、現在、震災対策特別委員会を設置し、被災地の復興支援はもとより、首都圏の震災対応にいたるまで、全力をあげ活動を展開しております。

私達、東京商工会議所の会員企業といたしましても、被災地の状況や日本経済の現状を踏まえ、創立130周年において再確認した「むすぶ」の精神に基づき、今こそ「共にならぼう日本」を合言葉に、下記のとおり行動していくことを強く宣言します。

記

1. 商工会議所が実施する被災地および被災者の支援活動に、積極的に協力します。
2. 大規模停電、計画停電を回避するため、商工会議所の「『ピーク抑制&節電』のための自主行動計画作成ガイドライン」等に基づき策定した自社の行動計画を確実に実行します。
3. 日本経済の停滞を招かないよう、イベントや会合等について、「過度な自粛」は控えます。
4. 風評被害に対応するため、積極的に、被災地産品の活用、被災地企業との取り引き、被災地域への観光の推奨を行います。
5. 自社の事業活動を通じて、できる限りの被災地および被災者の支援を行います。

以上

平成 23 年 6 月 10 日

会員各位

東京商工会議所

「東日本大震災に対する 東京商工会議所 会員行動宣言」 の策定について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は当商工会議所の運営に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当商工会議所では、このたび、東日本大震災に対する「東京商工会議所 会員行動宣言」を策定いたしました。

本行動宣言は、会員企業の皆様に、東日本大震災の被災地及び被災者への積極的な支援・協力を呼び掛けるとともに、大規模停電や計画停電回避のための自社の節電行動計画策定や、過度な「自粛」の抑制、風評被害への対応等を盛り込んでおり、各社の事業活動を通じたできる限りの被災地支援ならびに自主的な行動を呼び起こすことを目的としております。

今後は、当所創立 130 周年において再認識された“むすぶ”の精神の下、様々な活動を通じ、本行動宣言の周知・訴求を図ることで、被災地支援の機運をいっそう高めて参りたいと存じますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬 具

【本件担当】東京商工会議所 地域振興部 向山・青木

(TEL : 03-3283-7621)

※会員行動宣言の本文は<裏面>にございます

○「『ピーク抑制&節電』のための自主行動計画作成ガイドライン」をご活用ください

会員行動宣言（裏面）の「2」に記載しております「『ピーク抑制&節電』のための自主行動計画作成ガイドライン」につきましては、東京商工会議所のホームページ<トップページの画面右の緑色のバナー>からご覧いただけますので、あわせてご活用ください。

(<http://www.tokyo-cci.or.jp/kaito/teigen/2011/230520.html>)

○被災地を応援する企業を募集しています【被災地応援・会員企業ネットワーク事業】

東京商工会議所では、会員企業の皆様が取り組まれている被災地支援をホームページでご紹介しております。ご登録いただきました方には「共にならぼう日本」と記載したステッカーを配付しております。東京商工会議所のホームページ<トップページの画面右の青色のバナー>からご覧いただけますので、ぜひご登録ください。(<https://sites.google.com/site/oennetwork/>)